

絵本のある暮らし

赤ちゃんだって絵本大好き

たんぽぽ組の子どもたちの絵本の時間をのぞいてみましょう
抱っこされてすぐそばで大人の語りを聞ける幸せ



今日はゆっくり絵本を挟んで
「いないいないばー…」
熊さんのお顔を指さしたり
先生の顔を時おり見たり
絵本の時間を通して
声の響きや体のぬくもりを
感じているようです。



1～2歳にお勧めの絵本

2歳前後になると、語彙爆発と言われる程急激に言葉数が増えていきます。
また、この時期は言葉だけでなく体を通して関わろうとします。身体を動かしたりするなど読み聞かせに参加。静かに黙って聞く時期ではないようです。

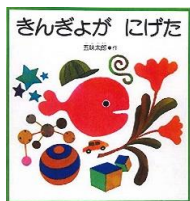


「ここ…ここ…」
「そうね！そうね！」と
保育士。
1人が動けば
我も我もと真似が始まる
絵本を通して多くの事が
起こります。
そのすべてが子どもの心に宿ります。



3～4歳にお勧めの絵本

次第に、読み聞かせの声を静かに聞くことができるようになる時期です。
絵本の世界で、何が起きているのか視覚と聴覚で本と関わろうとします。
しかしまだ、繰り返しの面白さに心が奪われる年齢です



「きよだいなきよだいな」
このフレーズで
子どもたちの心は
「あったとさあったとさ…
きよだいなせっけん…」
子どもたちの身体には
ストーリーが全部入っています。
大好きな場面をわくわくしながら待っています。
読み手もそれが伝わりわくわく…です。



5～6歳にお勧めの絵本

幼いころ、親にしてもらった読み聞かせは親と共有した「場」と「時間」と
「ふれあい」が温かく楽しいものであればあるほど、幼き頃の素敵な思い出
として心のひだに残っています。

この年齢になると少々長いお話でも食い入るように見入っています。
その中で感動して涙ぐんだり、笑い転げたり不思議に
思ったりと、様々な感情が揺れ動いています。



今日も楽しい
絵本の時間。
しっかり正座して
絵本に注目し
聞き入っています。

大人に お勧めの一冊



クスッと笑えて、ほろりとする1冊です。

子どもも大好きな絵本ですが私も大好きです。

「えー友達やです。友達はいますか。寂しい人はいませんか
友だち1時間100円、2時間200円」キツネがやってきます。で始まり
最後は「えー友達はいますか。寂しい人はいませんか。
何時間でもタダ。毎日でもタダです。」キツネはスキップして帰ります。

お疲れのお母さんお父さん、

一度手に取り声を出して読んでみてください。元気が出ますよ！